



## ■鳥インフルエンザ対策の強化 防疫対策本部を設置

市は1月28日、鳥インフルエンザなど家畜伝染病に対する体制を強化するため、家畜伝染病防疫対策本部を設置しました。対策本部の設置によって、関係機関との連携が強化され、市の組織を挙げての対応となります。皆さまには次の点についてご理解とご協力をお願いします。

### ●冷静な行動を

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃厚な接触等特殊な場合を除いては、通常では人に感染しないと考えられています。鶏肉や卵を食べることによる、鳥インフルエンザウイルスが人に感染することは世界的にも報告されていません（1月現在）。

冷静な行動をお願いします。

●近づきすぎないで

鳥の糞が靴の裏や車両に付くことにより、鳥インフルエンザウイルスが他の地域に運ばれる恐れがありますので、家きん飼養施設や野鳥に近づきすぎないで、市長と意見交換をしました。

### ●死亡した野鳥を見つけたら

昨年秋以降、高病原性鳥インフルエンザウイルスが全国各地で確認されています。死亡した野鳥を見つけた場合は、素手で触らず、各総合支所または耕地林務課へご連絡ください。

●三郷総合支所内耕地林務課  
TEL 77-3111 FAX 77-6060

## ■5地域に「移動市長室」を初開設

市ではこのほど、「移動市長室」を初の試みとして開設しました。

この取り組みは「新市発足以降、市長との懇談や提案がしにくくなった」といった課題に対応するもので、市長が5つの総合支所を巡回し、市民の皆さまとの対話を深めることが狙いで

す。

今回は1月13日に穂高、20日に三郷、2月10日に明科、17日に堀金、24日に豊科で市長室を開設しました。

このうち、三郷総合支所で開かれた移動市長室には、4件の申し込みがあり、その地域独自の課題や施策の提案などについて、市長と意見交換をしました。

黒沢川の排水路問題などで須野卯久さん（三郷温）は、「これまでには区長会や総合支所を通じてお願いしてきたが、地域が現在抱えている問題をまとめて直接お伝えできる」と開設のメリットを話しました。

いただいたご意見は、施策の検討材料として活用させていただきます。



よりきめ細やかな対話を図るために

## ■北部給食センター着工 10月末完成予定

穂高等学校給食センターの移転新築工事である「安曇野市北部学校給食センター」建設工事の起工式を1月29日に開催しました。

移転新築する場所は、農免道路田中西交差点の北西側の5、991平方メートル。施設の規模は、延べ床面積2、091平方メートルを計画しています。

施設・設備は、国の設計・管理基準に従い最新式のものとし、アレルギー対応の調理室も完備。これまで以上に子どもたちに安心・安全な給食を提供できるようにになります。また、建物の高さを10メートル以内とし、切妻屋根にするなど、田園風景との調和を目指した設計となっています。



田園風景との調和を目指した外観

穂高等学校給食センターは昭和58年の建設。設備や厨房機器の老朽化が進んでいました。

完成は本年10月末の予定です、穂高地域の小中学校に給食の提供が始まるのは来年1月からになる見込みです。

現在、市には4つの学校給食センターがあり、堀金給食センターは平成17年に、中部・南部給食センターは平成19年に稼働しています。

## ■国勢調査速報値 人口増加数は県内で8位

5年ごとに行われる国勢調査（昨年10月1日現在）の速報値が1月7日、長野県から公表されました。

安曇野市の人口は、前回調査に比べて195人増の9万6、461人となりました。長野県の人口は、215万2、736人で、前回調査に比べ、4万3、378人の減少となっていました。

また世帯数については、県が1万4、117世帯増の79万4、362世帯、市が1、420世帯増の3万4、163世帯でした。

男女・年齢別人口、産業・職業ごとの就業者数の速報は、6月に予定されています。調査への協力、ありがとうございます。

市町村別の人口では、県内77市町村のうち、13市町村で増加、64市町村で減少しています。安曇野市の人口増加数は、県内の市町村では多い方から8番目、市では松本市に次ぎ2番目となりました。

### ■国勢調査実施本部

TEL 71-2000 FAX 72-1223

	人口 (人)	前回比(人) (平成17年)	世帯(件)	前回比(件) (平成17年)
長野県	2,152,736	43,378 減	794,362	14,117 増
安曇野市	96,461	195 増	34,163	1,420 増

※この速報値は長野県の速報値であり、後日、総務省から公表される速報値と一致しない場合があります。